

複層林を育てる

雲南ルポ

雲南市大東町のスギ林。スギの合間から強い日差しが地面に届き、広葉樹のミズメやケヤキ、下草が茂る。島根県中山間地域研究センターが調査を行っているモデル林だ。

デル林でスギの一部を切り倒して広葉樹を植えることで複層林を作り出し、森林が持つ能力を高め、環境維持に役立てる林を育てる研究が進められている。調査する同センターの原

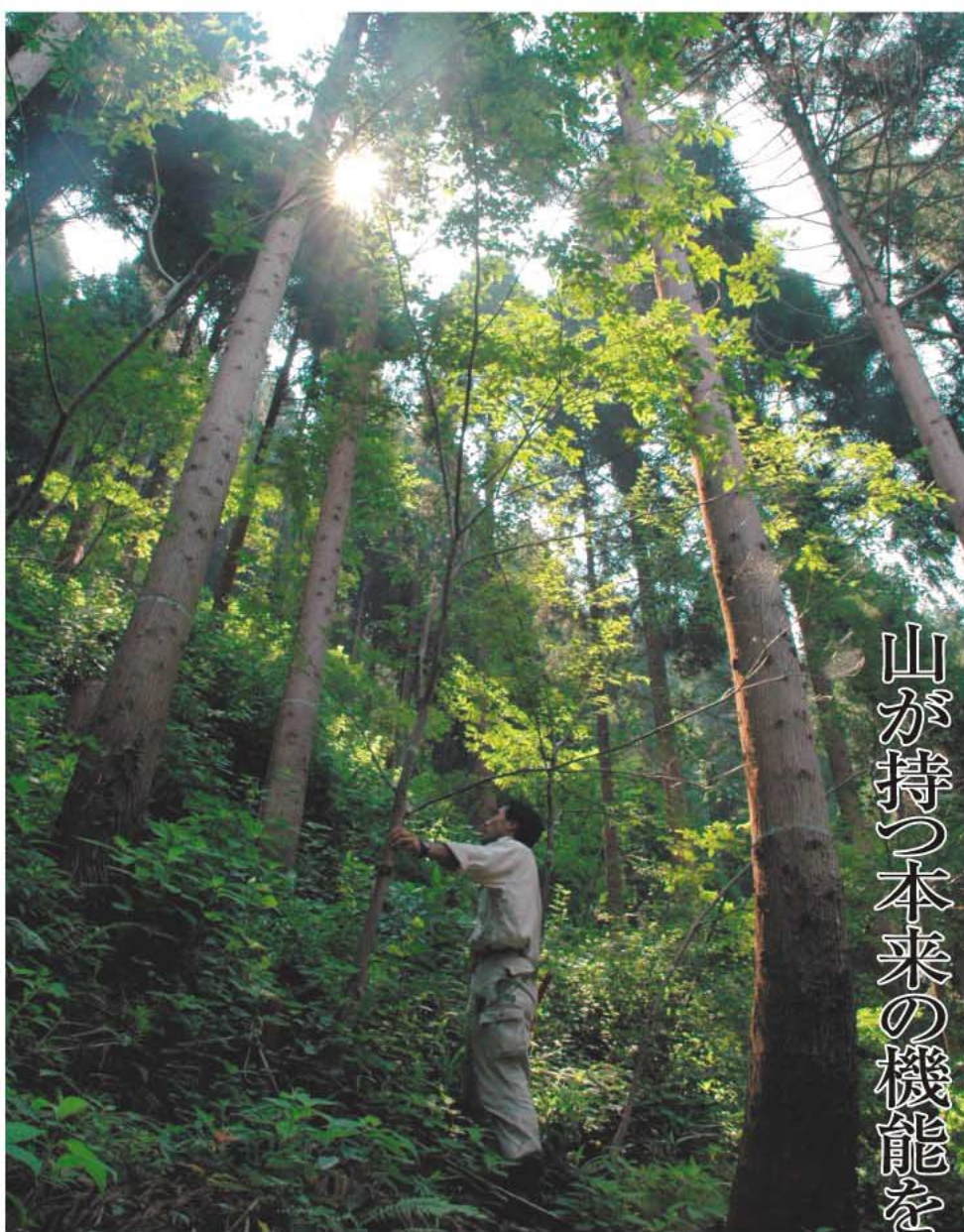


山には本来、多種類の樹木が育つ。しかし、戦後の森林政策で多くはスギやヒノキだけが植えられ、単層林になった。さらに木材価格の低迷で山が手入れされず、森林が持つ水源涵養の能力が衰えている。そこで同センターは、モデル林でスギの一部を切り倒して広葉樹を植えることで複層林を作り出し、森林が持つ能力を高め、環境維持に役立てる林を育てる研究が進められている。

「広葉樹を植えることで山が持つ本来の機能を発揮できる」

県中山間地域研究センター、森林保護育成グループは、水士保全など公益的機能を持った森林造成技術の確立や、海岸部で被害が深刻化している松くい虫に強い苗木の開発といった県内の森林が抱える問題に即した十

の研究を進めている。雲南市大東町のスギ林は、水士保全の機能を持った森林を作る技術の確立に関する研究の一環。一九九四年、



山が持つ本来の機能を発揮できる

ミズメとケヤキを植栽し、その後スギの一部を伐採。日当たりを良くすること

で、広葉樹の成長を促した。現場との情報交換に努めることでニーズの高い研究に取り組んでいる。古瀬科長は「林業を取り巻く環境は厳しいからこそ、実用的な研究を進めなければならぬ」と強調。かつて中山間地域の暮らしを支えた林業の復興を側面から支えようとして

島根県中山間地域研究センターが調査するスギと広葉樹の混交林。高く伸びるスギの間から、ミズメやケヤキが成長している。雲南市大東町。



島根県中山間地域研究センターが調査するスギと広葉樹の混交林。高く伸びるスギの間から、ミズメやケヤキが成長している。雲南市大東町。調べる原野主任研究員。雲南市大東町。



下重 暁子 (作家)

コラム

二十年前、エジプトに半年住んでいたことがあった。飛行機から見たら茶色の砂漠の中で、ナイル河のほとりだけが延々と緑が続き、水があるところだけだけ緑があることの証拠である。

エデンの園

「どうだ、エデンの園は素晴らしいだろ？」と案内人は胸を張る。砂漠の地であるエジプトでは、こんな疎林ですら誇るべき園なのだ。コーランの天国の記述を見ると「樹々が茂り泉が湧き美女がはべる」とある。

だからこそ、緑を大切にしない、森林の大切さに気付かない。高温多湿の日本では緑や水は当たり前。雨が降れば緑が生える。なくなっ

てみなければその大切さには本當に気付かないかもしれない。ヨーロッパを旅した人々は散在する公園の緑の素晴らしさに感嘆する。それはみな植林されたものである。陸続きのヨーロッパ大陸は戦乱が起きると、そのたびに緑が焼き尽くされ、森林は失われ、人々は必死になって再び木を植えたのだ。従って緑を大切にし、森林を守ることは必死である。フランスのフォンテンブローの

プロファイル
下重暁子(しもじゅうあきこ) 1959年早大卒後NHKに入局。女性トップアナウンサーとして教養、報道、音楽番組を中心に活躍。68年に退社後フリーとなり、民放キー局で生活文化系活動に入る。ジャンルはエッセイ、評論、ノンフィクションなど多岐にわたる。日本ペンクラブ副会長、日本旅行作家協会副会長、日本自然保護協会副会長。

森林保全活動レポート



名峰・大山を望む森。この美しさを子どもたちに伝え、いつまでも残していきたい。

今回の森林保全活動レポートその⑧に登場する

丸山生産森林組合
昭和31(1956)年設立。現在の組合員数は77人(平成17(2005)年12月時)。名峰・大山のふもと伯耆町を拠点に、「伯耆町豊かな森づくり実行委員会」主催のもとで森林保護のほか、さまざまな啓発活動を進めています。そのひとつが、「美しい森づくりを教育に生かそう」との目的で実施されている体験活動。枝打ちや草刈り、炭焼きなどの体験をとおして、地域の小中学生に丸山の森の素晴らしさと、それを守る大切さを伝えていきます。平成17年には、社団法人鳥取県緑化推進委員会が選出する中国・四国地区緑化功労者のひとりとして、組合長の小西潤一郎さんが選ばれています。

- 森林を守ろう! 鳥取県 丸山生産森林組合(伯耆町) 山陰ネットワーク会議 参加団体のみなさん (6月18日現在)
- NPO法人 賀露 おやじの会(鳥取市)
 - NPO法人 サカズキネット(倉吉市)
 - 広葉樹文化協会(鳥取市)
 - 財団法人 南部町地域振興会(南部町)
 - 大山横手道上ブナを育成する会(米子市)
 - 鳥取県木造住宅推進協議会西部支部(米子市)
 - 鳥取市女性の森グループ(鳥取市)
 - トリネット(米子市)
 - 日野川の源流と流域を守る会(日野町)
 - 鳥取県 NPO法人 賀露 おやじの会(鳥取市)
 - NPO法人 サカズキネット(倉吉市)
 - 広葉樹文化協会(鳥取市)
 - 財団法人 南部町地域振興会(南部町)
 - 大山横手道上ブナを育成する会(米子市)
 - NPO法人 もりふれ倶楽部(松江市)
 - 源流の森里山づくり(邑南町)
 - 財団法人 鳥取県西部山村振興財団(浜田市)
 - 里山を育てる会(松江市)
 - しまねフォレスト・ネットワーク出雲(出雲市)
 - 薪ストーブ同好会(松江市)
 - 丸山生産森林組合(伯耆町)
 - 鳥取県 出雲市林業振興協議会(出雲市)
 - NPO法人 緑と水の連絡会議(大田市)
 - NPO法人 もりふれ倶楽部(松江市)
 - 源流の森里山づくり(邑南町)
 - 財団法人 鳥取県西部山村振興財団(浜田市)
 - 里山を育てる会(松江市)
 - しまねフォレスト・ネットワーク出雲(出雲市)
 - 薪ストーブ同好会(松江市)
 - 松江ネイチャーゲームの会(松江市)
 - 木質バイオマスエネルギー地産地消ネットワーク(松江市)
 - 森の仲間(出雲市)
 - 遊木民倶楽部(益田市)
 - 特別協賛 山陰中央新報社 新日本海新聞社
 - 特別協力 凸版印刷株式会社

豊かな緑を子どもたちの未来へ! 森林を守ろう!山陰ネットワーク会議

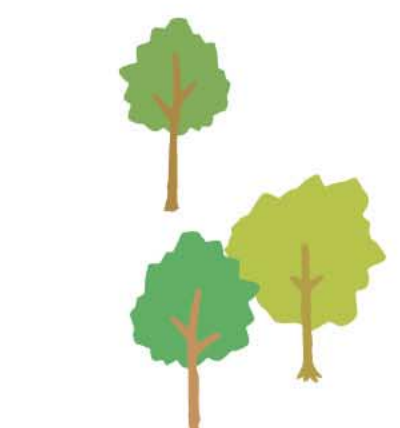
山陰の森林に関する活動を展開しているNPO法人やボランティア団体を中心にネットワークを構築し、森林保全の輪を広げる活動を展開します。

陽光に輝く緑のなか、森に分け入った子どもたちが、カマを手に夏草と格闘していました。古来から「伯耆富士」と呼ばれ、愛されてきた名峰・大山。その美しい山肌を正面に見ながら、草刈り体験がはじまったのです。この日の主役は、地元の中学生たち。森林環境保全税を活用した「職場体験」の一環として、この山に入り、枝打ち、葛切り、草刈り、炭焼きなどに汗を流しました。ここは、鳥取県の西部に位置する伯耆町。「伯耆町の自然は、実に美しい。人もいいし、農産物の味もいい。そしてなにより、正面から見る大山の姿。農林水産省の「農林景観百選」にも入った美しい田園風景は、多感な中学生にぜひ守り続けてほしいです。」地域の森林保全の輪をひろげるため、丸山生産森林組合の人たちは、日々努力されています。



「カマをもつのは初めて」という生徒もいたけど、コツを教えてもらいながら地元森林の整備のお手伝いしました。この後は、飯ごうをつかったご飯炊きにチャレンジしました。

今後の活動予定(参加は自由です) 伯耆地区の80%を占める森林を大切にしたいから、今後も職場体験に代表されるような啓発活動を推進していきます。



山陰合同銀行 地域振興部内 島根県松江市魚町10 690-0062 TEL.0852-55-1820

